



NITTO INFORMATION



VOL.26

プラセシオン名古屋伏見
(平成24年12月竣工)
名古屋市中区/RC造 14階
延べ面積5,215.34㎡

特集

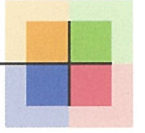
相続税改正

トピックス

高騰する建築費



URL <http://www.nitto-kensetsu.co.jp> ISO9001/14001認証取得



平成25年度税制改正大綱が発表されました!

平成25年度税制改正が平成25年3月29日に成立しました。今回の改正ポイントは、相続税の実質増税です。なかでも注目されているのは、基礎控除の大幅引き下げ。これまで相続税とは無縁だった人も、これからは相続税対策が必要になるかもしれません。改正の施行時期は平成27年1月1日以後に開始する相続からになります。今のうちから相続税対策について勉強し、対策を打っておくことが重要です。



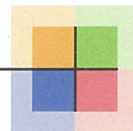
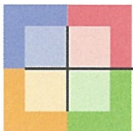
相続税の主な改正内容

【基礎控除額の改正】(平成27年1月1日～)

現行	5,000万円	+	1,000万円×法定相続人の数
改正後	3,000万円	+	600万円×法定相続人の数

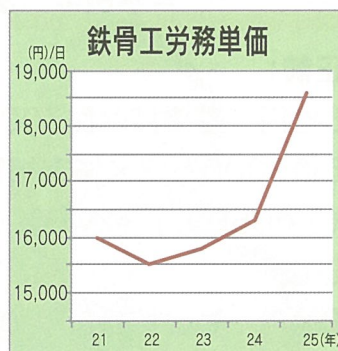
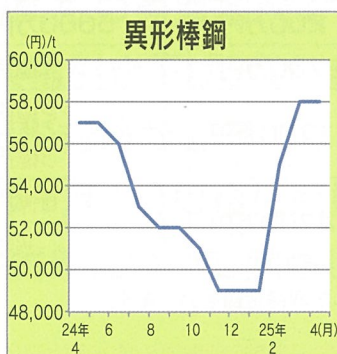
※上記改正により、相続税がかかる範囲が拡大されることとなります。
例えば相続人1人の場合、現行では6,000万円の基礎控除が改正後は3,600万円に減額されます。





トピックス

高騰する建築費



アベノミクスの影響か、建築資材が軒並み高騰しています。上記のグラフにある生コン、異形棒鋼、H形鋼は建築には必要不可欠な資材です。

また、材料だけではなく、建築に関わる職人に支払う労務費も高騰しています。上記のグラフは鉄筋工、型わく工、鉄骨工の労務単価の推移をグラフ化したものです。グラフを見ると、材料単価は平成25年のはじめから騰がりはじめ、労務単価は平成24年度から比較すると平成25年度は15%程一気に上昇していることが分かります。ここで取り上げた労務単価のデータは公共工事費の積算に用いるためのものです。(国土交通省調べ)

労務費高騰の原因は東日本大震災の復興工事や今まで不景気が続いた原因で職人の数自体が廃業等で減少していることが挙げられます。

建築資材の高騰、労務費の高騰に加え、来年の4月から実施される消費税の増税前の駆け込み需要により、建築費は更に高くなると思われます。

「外断熱」に関する情報は、日東建設のホームページ
でご覧いただけます。
(URL <http://www.nitto-kensetsu.co.jp>)
またパンフレット及びビデオも用意しておりますので、
気軽に企画開発担当者まで申し付け下さい。



伝統を軸に未来へ

株式会社 **日東建設**

TEL(052)321-5501(代表)

